

学会記事

??

第 26 回高橋奨励賞

大学基礎講座・チュートリアル開催通知

??

チュートリアル「サービス科学・工学とは何か」開催

チュートリアル「ウェブマイニングとセマンティック技術」開催

研究会開催通知・論文募集、チュートリアル開催通知、教員募集（教育機関以外の人材募集の場合は事前にご相談下さい）へ投稿される方は、下記宛に原稿をお送り下さい。電子メールの場合は、件名を“JSSST newsletter”としてテキスト形式でお願いします。紙面の都合により無断で記事の一部抜粋や割愛をさせていただくことがありますので予めご了承下さい。原稿締切は 2, 5, 8, 11 月の 25 日、掲載は翌々月発行の「コンピュータソフトウェア」です。

〒113-0032 東京都文京区弥生 2-4-16 学会センタービル内

日本ソフトウェア科学会 ニュースレター係

E-mail: jssst\_newsletter@jssst.or.jp

## 学 会 記 事

### 第 26 回高橋奨励賞

第 26 回高橋奨励賞は下記の 2 名に授与されます。本賞は、2009 年 9 月 16 日～18 日に開催した第 26 回大会の講演者を対象に、同賞選考委員会（委員長：岩崎英哉大会プログラム委員長）において、選考規定に基づき慎重に審査した結果、2 名が推薦され、理事会で決定されたものです。

#### 1. 鵜川 始陽（電気通信大学 情報工学科）

[3D-4] 複製に基づくインクリメンタルコンパクションを用いたガーベージコレクタ

授賞理由：本発表は、組み込み機器上で動作する言語処理系向けのガーベージコレクション方式の改良を提案している。特に組み込み機器上のアプリケーションでは、アプリケーション実行の停止時間やメモリオーバーヘッド量に対する要求が厳しいが、本発表の提案は、コンパクション領域の選択や管理用メモリの割り当て手法の工夫によって解決を図っている。Java 仮想機械上に処理系を実現して性能測定を行った結果では、従来の方式よりもメモリ効率の改善や高速な動作を達成している。携帯電話や家電などの組み込み機器においても、ガーベージコレクションが備わったプログラミング言語による開発が主流となってきている今日、本発表は時機を得たものである。また、既存の研究を着実に前進させ、その効果を詳しく調べていたアプローチ

は高く評価できる。

受賞者略歴：2000 年京都大学工学部情報学科卒業，2002 年同大学大学院情報学研究科通信情報システム専攻修士課程修了，2005 年同専攻博士後期課程修了，同年京都大学大学院情報学研究科特任助手，2008 年より電気通信大学助教，博士（情報学），プログラミング言語とその処理系に興味を持つ，日本ソフトウェア科学会，情報処理学会，ACM 各会員。

2. Jacques Garrigue (名古屋大学多元数理科学研究科)

[6B-2] 構造的多相性をもった言語の検証つきインタープリタ

授賞理由：プログラミング言語 OCaml の型システムは，オブジェクト型や多相ヴァリアント型をもち，これらは構造的多相型により実現されているが，その複雑さにより実装の正当性を保証することが難しくなっている．この状況を改善するために，本発表は，形式的に正当性が保証された OCaml の参照実装の実現を目指し，構造的多相性を追加した Core ML に対して，正当性が形式的に証明されたインタプリタを定理証明系 Coq 上で実装した．受賞者は，OCaml における型システム部分のメンテナであり，その経験に立脚した研究であり，研究の背景と動機の説明は明確であった．また，構造的多相性の形式化に関して十分な新規性が認められるものである．形式化の研究分野の発表はややもすると技術的な説明に偏り，分野外の聴衆には退屈なものとなりがちであるが，本発表はその他の分野の聴衆にも受け入れられるよう工夫がなされていた。

受賞者略歴：1971 年生，1990 年パリ高等師範学校入学，1992 年パリ第 7 大学情報科学専攻修士課程修了，1995 年東京大学大学院理学系研究科情報科学専攻博士課程修了，同年京都大学数理解析研究所助手，2004 年より名古屋大学多元数理科学研究科准教授，理学博士，関数型プログラミング言語，計算，定理証明などに興味を持つ，日本ソフトウェア科学会，ACM 各会員。

大学基礎講座・チュートリアル開催通知

大学基礎講座・チュートリアル	日 時	場 所	講 師
「サービス科学・工学とは何か」	2010 年 2 月 17 日 13:30 ~ 17:30	産業技術総合研究所 臨海副都心センター	橋田浩一（産業 技術総合研究所）
「ウェブマイニングとセマンティック技術」	2010 年 3 月 26 日 13:30 ~ 17:30	東京大学 本郷キャンパス	松尾豊（東京大 学）

チュートリアル「サービス科学・工学とは何か」開催のお知らせ

サービス科学・サービス工学 (SSE) なるものがこしばらく注目されてきましたが，い

まのところその実態は、認知科学、経営学、マーケティング科学、コンピュータ科学、経済学、生産工学、政策科学などの寄せ集めであり、SSE という独自の研究領域が確立しているわけではありません。しかしながら、モノの生産力が飽和して知識社会が到来し、サービスが産業の 7 割を占めている現在、製品ではなくサービス、モノではなくコトに関する科学的・工学的研究の体系化を図る必然性は十分にあるように思われます。

本チュートリアルでは、このような問題意識に立って、SSE とは何か、またはいかにあるべきかを考えたいと思います。つまり、本チュートリアルは SSE 独自の確立した体系（そんなものはありません）を紹介するのではなく、SSE が提言された文脈に関する論考から始め、SSE に関連する下記のような知見やいくつかの事例をその文脈に位置付けて解説しつつ、その文脈において真に要請される研究プログラムはどのようなものか、そしてその研究プログラムと SSE とがどのような関係にあるのかを、参加者とともに検討したいと考えています。

- ・サービスの定義
- ・仮説検証と知識創造
- ・サービスの持続可能性
- ・人間と社会とサービスのモデル
- ・目的に基づく設計
- ・SSE と e サイエンス

とは言え、本チュートリアルを聴講するのに SSE に関する予備知識は不要です。サービスを研究している方だけでなく「サービス工学って何？」という素朴な疑問をお持ちの方なども、奮ってご参加下さい。

日 時 2010 年 2 月 17 日 (水) 13:30 ~ 17:30 (13:00 受付開始)

場 所 産業技術総合研究所 臨海副都心センター 本館 4 階 第 1 会議室

講 師 橋田 浩一 (産業技術総合研究所)

テキスト 学会で用意する資料を配布します。

定 員 40 名

参加費 学生会員：1,000 円 学生非会員：7,000 円

一般会員：5,000 円 一般非会員：17,000 円

入会手続き中の方と当日入会申込される方は会員価格で参加いただけます。

参加費は配布資料の代金を含みます。

参加申し込み方法

以下のフォームを埋め、subject を "JSSST tutorial: Service" として、  
jssst-tutorial@m.aist.go.jp 宛にメールをお送り下さい。

氏名 (ふりがな)：

所属：

電子メール：

会員区分： 学生会員・学生非会員・一般会員・一般非会員 (該当する部分を残し，他の部分を消して下さい)

会員番号： (入会手続き中または当日入会申し込みの場合はその旨をお書き下さい)

問い合わせ先 電子メール: [jssst-tutorial@m.aist.go.jp](mailto:jssst-tutorial@m.aist.go.jp)

#### チュートリアル「ウェブマイニングとセマンティック技術」開催のお知らせ

ネットワーク上には非常に多くの情報が整理されずに存在しています。そして、これらの分類されていない膨大な情報を有効に活用するには、情報の関係を分析し構造化することが必要となります。

本チュートリアルでは、当該分野に関連する国際会議のプログラム委員も務められるなど国際的に活躍されている東京大学の松尾豊准教授を講師にお招きし、これら情報を分析・分類する要素技術の解説から社会応用までを、分かり易く体系立てて解説していただきます。

受講対象は、日々の業務で Web 上の情報収集や整理に従事されているもしくは興味のある技術者、大学生・大学院生の方々、これからこの分野の研究を始めようとする初学者の方々などとなります。多数の皆様のご参加をお待ち申し上げます。

日 時 2010 年 3 月 26 日 (金) 13:30 ~ 17:30

場 所 東京大学本郷キャンパス 工学部 2 号館 2 階 245 教室

講 師 松尾 豊 (東京大学大学院工学系研究科 准教授)

内 容

本チュートリアルでは、ウェブ上の大量の情報を使ったマイニングおよび意味処理の実現に向けた方法論について述べる。ウェブ上には膨大な情報があり検索エンジンの技術が進んでいる。一方で、ブログやソーシャルネットワーク、twitter といった、ソーシャルメディアも急激な進展を見せている。こういった大量の情報を活用していくには、内容を分析・理解するセマンティック技術が重要である。マイニングを基盤としたセマンティック技術が、どのように活用され得るのかを、人工知能の技術と関連付けながら説明する。チュートリアルの内容としては以下のものを想定している。

- ・セマンティックウェブ技術の動向とその意義
- ・Google や Yahoo! で研究されているマイニング処理
- ・エンティティ抽出，関係抽出，属性抽出
- ・セマンティック技術のビジネスモデル

- ・ブログを使った社会現象の観測・予測
- ・ソーシャルネットワークとその理論，分析手法
- ・構造の学習と人工知能

テキスト 学会で用意する資料を配布します．

定 員 40 名

参加費 学生会員：2,000 円 学生非会員：4,000 円

一般会員：5,000 円 一般非会員：8,000 円

当日入会頂いた方は，会員価格で御参加いただけます．

参加費用には学会側で用意する配布資料の代金が含まれます．

参加申し込み方法

以下の参加申し込みフォームに必要事項をご記入の上，subject を”JSSST tutorial: Web mining” とし，申込み先 ([jssst-tutorial@ml.labs.fujitsu.com](mailto:jssst-tutorial@ml.labs.fujitsu.com)) までメールをお送りください．

氏名 (ふりがな)：

所属：

電子メール：

会員区分：学生会員・学生非会員・一般会員・一般非会員 (該当する部分を残し，他の部分を消して下さい)

会員番号： (入会手続き中または当日入会申し込みの場合はその旨をお書き下さい)

問い合わせ先

講演の内容，申し込み手続き，空席状況などについては，以下にお問い合わせ下さい．

吉川隆英 (株式会社富士通研究所)

電子メール: [jssst-tutorial@ml.labs.fujitsu.com](mailto:jssst-tutorial@ml.labs.fujitsu.com)

チュートリアル案内 Web ページ <http://www.jssst.or.jp/>